

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	ご本人のこれまでのライフスタイルを尊重し、住み慣れた地域での社会的交流の場、集いづるぎの場として質の良い暮らしの空間を提供できるよう掲げています。		
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念はリビングルームに掲示して、いつも目に付くようにし、スタッフが意識しやすいようにしています。又、毎日の申し送り時やカンファレンス時に共有の意識を持ちケアに当たれるよう話し合っています。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入居者様のホームでの様子や予定をお便りに掲載し、ご家族へ送付したり、回覧板で地域の方々へお伝えしています。管理者は町内会行事にも参加し、さんるーむの取り組みについてお話をさせていただく機会がありました。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の挨拶を何よりも心がけております。ホームでの行事にはご近所の方もお誘いしたり、犬のお散歩をする方がベンチで休憩されたり、入居者の方々とお話されたりすることがあります。また、回覧板を回しに行く時は入居者の方と一緒に歩くようにしたり、近所の商店を利用して顔なじみになりつつあります。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の保育園児の来訪があり、歌や踊りを披露してくれました。また、近所の公園の夏祭りに参加することができました。2階デイサービスに通う方々と一緒に週に一度、身体活性化体操に参加したり、ボランティアさんの手品や踊りを見る機会があります。		福祉会館や地区センターに通われている方々と交流が図れるよう取組んでいきたいと考えております。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	実習生の受け入れ用意があります。また、地域の高齢者の方々へ、ボランティア（お話し相手や囲碁、歌など）に来ていただくのはいかがでしょうかと考え回覧板を利用し呼びかけていこうと考えております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		制度について皆で理解できるよう内部研修を行っていきたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の日々の生活の中での言動や表情から思いを汲み取れるよう努力しています。スタッフ間のカンファレンスや日々の申し送りで情報交換を行い運営に反映できるよう対応しています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	二ヶ月に一度お便りを発行しホームでの様子をお伝えしています。また来訪時やお電話にて管理者から健康状態についてご報告させていただくようにしています。職員の異動についてもお便りでお知らせするようにしています。おこずかいから支出したものについては、出納表、領収書(レシート)をご家族へ送付し、ご確認いただいております。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様同士が行事に参加し交流できるような機会を作っています。事業室からはアンケートを送付し、サービスに反映できる体制をとっています。		本年はご家族参加のクリスマスパーティーを予定しております。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスでは必ずスタッフから意見を述べる時間を設けています。必要時は個別面談を行い、要望、意見を話せる機会を設けています。また、年に二回、自己申告書にて意見を述べる機会があります。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	急な病院受診やご家族様の都合のつかない受診への対応、外出時・レクリエーション行事時は入居者様の安全が確保できるよう必要なスタッフ配置を行っています。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者様、ご家族様へ信頼が途切れないよう細かく引継ぎを行っています。異動時にはお手紙や、お便りでご報告したり、面会時には紹介を行うようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	早急な対応が必要と思われる相談者には、他の事業所のサービスに連絡するなどの柔軟な対応を行っています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	出来るだけ入居前に見学に来ていただいたり、管理者との面談を行うようにしています。入居後は特に環境の変化に注意し、同居者とのコミュニケーションをサポートする事をケアプランに組み込んでおります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	日頃から調理や作物の育て方、お花の生け方など、入居者様に教えていただく機会がたくさんあります。残された力を大切に、感謝の気持ちを伝える事で自信が持て、心身の活性化に繋がればと考えております。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族と一緒に参加できる行事を行ったり、面会時に日々の様子をお伝えし、変化のある時は電話でお知らせするなど、ご家族と入居者様のパイプ役となれるよう努めております。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人のこれまでの生活歴や家族構成などを把握し支援できるよう努めております。管理者はじめ、スタッフはパイプ役となり、コミュニケーションが円滑にいくよう努めております。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族の面会やご友人の来訪時には、居室でゆっくりくつろいでいただき、一緒に過ごす時間を大切にさせていただきたいと考えております。入居者様は自由に電話を利用され、ご家族やご友人とお話されています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ゲームやお手伝いを通して、出来ない方への気配りや優しさを垣間見ることが出来ます。体操やティータイムの時間は皆さんでリビングに集まれゆっくりとおしゃべりを楽しむ時間があります。コミュニケーションのとりずらい方へは、スタッフが間に入り、孤立する事のないよう努めております。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	医療施設へ入院されても、入居者様と一緒にお見舞いに行き馴染みの関係を継続できるように努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わり合いの中でご本人の希望や意向を聞き出し、それに沿ったケアをするよう努めております。意思をうまく伝えられない方へは、ご本人の立場になったつもりで考え、表情や仕草の中から意思を汲み取る努力をしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人から情報を集め、日々のコミュニケーションの中からもこれまでの生活暦や環境、交友関係などを探り、ケアに役立てております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	常にご入居者9名それぞれの所在を把握し、心身の状態に少しでも変化の見られるときは申し送りを行い、スタッフ全員で把握できるようにしております。現状についてはスタッフ同士で話し合ったり、医師や看護師の助言を仰いだりしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	3ヶ月、半年毎のモニタリングと評価を行いスタッフ全員でケアのあり方を話し合っています。入居者様がその方らしく生活できるよう、御本人・ご家族の要望を聞きながら作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状態に変化が生じた時は、スタッフ間で情報交換や確認、話し合いを行い新たな計画を作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	気付いた事などはケア記録や申し送り表に記入し、業務に入る前に必ず目を通すようにしています。情報を共有し、介護計画の見直し・評価につなげております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	2階デイサービスにおける身体活性化体操やドライブツアー、ガーデンパーティーに参加しております。必要に応じ情報を提供する準備(他事業所のパンフレットなど)が出来ております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近隣のお宅や商店とは日頃から挨拶をし緊急時には支援していただけるよう働きかけています。運営推進会議に町内の代表、民生委員の方に参加していただき協力を得ています。また、地域の方のボランティア訪問もあります。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のマッサージや理美容の利用、市のおむつサービスの利用があります。地域のケアマネージャーの訪問もあり、必要時には対応できる体制が整っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に出席していただき、支援に関する意見やアドバイスをいただけるようになりました。		地域包括支援センターの主催する研修会へ積極的に参加するようにしています。11月には地域のグループホーム計画作成担当者を対象にケアマネジメントについての研修会が行われる予定です。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週に1回、看護師による健康管理、二週に1回、内科医の往診があり、気軽に相談に応じてくださいます。24時間体制で支援していただき緊急時の体制も整っています。必要時の他科受診はご家族と協力しながら行っており、必要時は歯科医の往診もあります。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	地域の専門医に相談できる体制が整っています。現在の主治医、看護師は認知症に詳しく専門的な診断や治療を受けることが出来ています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週に1回、看護師の訪問時に様子を報告・相談しています。24時間体制で対応しており、医師や他医療機関とのパイプ役となっております。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	面会に多く行き、ご本人の様子を見たり、ご家族からの状態の報告、情報交換が出来るよう努めています。医療機関の相談員と連携し、早期退院に向けての話し合いも行っています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人、ご家族の意向のもと事業所が対応できる最大の支援と、ご家族に協力していただける支援を話し合い対応しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご入居者・ご家族の心情を考慮し、スタッフに出来る最大のケアについて話し合い、訪問看護師・医師らの協力を得て取り組んでいけるよう準備していきたくと考えております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	他事業所へ移られる際にはアセスメント・ケアプランなど情報を交換し、これまでの生活をできるだけ継続してもらえるよう連携する体制を整えています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	申し送りは場所を変え、プライバシーに配慮しています。人生の大先輩に対する尊敬の気持ちを忘れず、言葉かけ、対応の仕方について慣れ合いになりすぎないように意識し、スタッフ同士声をかけあっております。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日々、衣食住の生活においてご本人の意思を尊重しするよう配慮しています。個々の能力に合わせて選択できる場面を作ったり、一緒に考えながら納得して暮らせるよう支援しています。表現がうまく出来ない方へは、表情を見逃さないようにし、思いを汲み取れるよう努めています。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体操やレクリエーション、食事の時間などを押し付けたりせず、ご本人の意思を尊重し、居室やリビング、テラスなどで自由に過ごしていただいています。買い物や外出の希望にも臨機応変に対応し、ご入居者の希望に沿えるよう努めております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご家族の協力を得ながら行っています。ご本人と一緒に買い物に行き購入することもあります。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	調理や盛り付けなどを一緒に行ったり、作り方や味付けなどを教えてもらいながら行っています。視覚で楽しんでもらえるよう彩りよく盛り付けしたり、器に変化をつけるなどの工夫を行っています。スタッフも交え会話をしながら食事をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人の好みの飲み物やおやつなど希望があれば購入してきたり、一緒に買いに行ったりしています。病状の関係で、こちらでお預かりして少しずつお渡することもあります。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄のパターンを把握しサイン見逃さないよう行っています。ご自分で出来ない方への支援はプライバシーに配慮しながら行うよう努めております。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	事前に意思確認を行い、午後からのゆっくりした時間帯に見守りや介助で行っています。希望があれば毎日でも対応できるような体制を整えています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	個々の生活習慣を尊重し、無理に寝るよう促したり、起こしたりすることのないようにしています。体調や前夜の睡眠状態に応じて休息がとれるよう配慮しています。夜間ぐっすり眠ることができるよう日中は体操や散歩、外気浴を行いリズムが整うように支援しています。夜間寝付けない方へはお話をして不安を軽減させ安心して休めるよう努めております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	台所仕事や縫物、畑の手入れなど得意な分野で活躍していただけるよう提供しています。		ボランティアを活用することでいつもと違う空気を作ったり、習い事したりして楽しみを増やしていきたいと考えております。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の必要な分を手元に置いて管理していただいております。買い物時にはご自分で支払いしていただけるよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い日はホーム周辺を散歩したりテラスでティータイムを楽しめるよう支援しています。外出の希望がある時は見守りや同行をさせて頂き安全に出かけられるよう支援しています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	バス遠足や食事会、音楽会など他のホームと合同で出かけることもあります。ご家族と一緒に買い物や温泉に出かける方もおられます。		ご家族の協力を得て、温泉に一泊旅行に行きたいと考えております。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	ご希望のある時はいつでも電話を使用させて頂いています。ご自分で出来ない方へはスタッフが取り次ぎを行い、ご家族やご友人との繋がりを維持していただけるようサポートしています。年賀状のやり取りをされているご入居者もいらっしゃいます。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも自由に入出入りしていただいております。気軽に訪問しやすいように雰囲気作りに配慮しています。居室でゆっくりくつろいでいただけるよう椅子やテーブルを用意し、お茶を飲んで過ごしていただいております。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は一切行っていません。マニュアルもできており、スタッフ全員で目を通してまいります。特に言葉で拘束してしまわないようスタッフ同士で声を掛け合い、日々意識しながら取り組んでいます。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中の玄関施錠は行っていません。居室も外側からスタッフが鍵をかけることはありません。自由に入出入りできる環境を整えています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の居室にはドア、カーテンがありプライバシーを保護しています。居室で過ごされる方へは様子を伺いに行き体調の変化に注意しています。また、夜間は定期的に訪室し安否の確認をしています。(あらかじめ入居者様への説明を行い同意を得ています。)		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	ハサミや髭剃りなどご自分で管理されている方もあります。個々の状態に合わせて対応しています。歩行の不安定な方へは動線上に危険となるものを置かないようにしています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	個々の身体・精神状況のアセスメントを行い、事故を未然に防ぐよう努めております。緊急時のマニュアルも用意されており、日頃から緊急時に的確な対応ができるよう訓練しています。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に応急手当講習や医学知識を学ぶ機会があり、急変時の対応の仕方について忘れてしまわないよう声を掛け合って確認しています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害時の応援体制が整っております。また、消火器の使用法、避難訓練など繰り返し行っております。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	心身の変化など普段からご家族にお伝えし、起こり得るリスクについてもご理解いただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		<p>糖尿病の方の摂取量、カロリー計算の仕方など栄養士の専門的アドバイスを受けていきたいと考えております。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>冷蔵庫の定期的な消毒、調理器具は毎回塩素消毒を行っています。食器類は食洗機にて高温消毒を行っています。食材は2日に一度搬入され、新鮮なうちに使い切るよう努めています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関にはスロープ、手すり、椅子を設置しどなたでも安心して使用できるよう配慮しています。プランターや花壇に花を植え入居者様をはじめ、町内の方々にも楽しんでいただけるように努めています。時々、近所の方がお散歩途中に庭のベンチで休まれています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>テレビや音楽の音量は皆さんで相談しながら調節しています。季節の花や壁飾りなどで季節感を出し、居心地のよい空間作りに努めています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居間にはテーブルやソファがありそれぞれくつろいでお過ごしです。廊下にも椅子を用意し自由に休んでいただけるよう配慮しています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内には使い慣れた家具や生活用品、装飾品や写真を持ち込まれ、安心して過ごしていただけるよう配慮しています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>居室、リビング、廊下など自動換気装置が設置されています。朝の掃除中や必要に応じて窓の開閉を行い換気に努めております。温度・湿度に気を付け加湿器やぬれタオルなどで調整しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>表現できない入居者様の思いを感じられるよう皆で話っております。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>毎日のティータイムには皆さんと一緒にお茶を飲みながらおしゃべりを楽しめるような時間をもうけています。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>お一人お一人の生活リズムを把握し、その人に合わせた生活が出来るように支援しています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>家事やレクリエーションに参加していただく事で何気ない会話の中から生き生きとした表情が見られるよう努めています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>出来る限りその方の体力に合わせて計画しています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>近くの医療機関と24時間連携が取れているためいつでも対応できます。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>不安の軽減に努め安心して過ごしていただけるよう配慮しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>遠慮され不安や不満など言い出せないご家族に対しても言いやすい雰囲気を作っていきたいと考えております。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>散歩中の方や近所のボランティアさんが来訪されました。今後は回覧板を利用して気軽に立ち寄っていただけるよう努めていきたいと考えております。</p>

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	町内会の活動に積極的に参加していきたいと考えております。
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	カンファレンスでは活発な意見交換があります。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	意思を表現しにくい方もおられますが、笑顔や笑い声が多く見られています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族様の希望や、胸のうちをもっと引き出していけるよう努めていきたいと考えております。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

スタッフ間の連携がよく、雰囲気の良いため、ホーム内の空気がいつも穏やかであると感じています。入居者様一人一人が安心して楽しく暮らしていただけるようにスタッフ同士意見交換を行いケアの質の向上にむけて取り組んでおります。周りには公園やお店があり、緑豊かで環境に恵まれているため季節を感じながら暮らしていただけていると考えております。2階にはデイサービスがあり、地域の方が通われている為ふれあう機会が多く、週に一度はインストラクターの指導の下で身体活性化体操に参加したり、ボランティアさんの踊りを見たり、バーベキューやドライブなどを一緒に楽しむ機会があります。